

令和5年度 教育部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子育て・教育	政策展開の方向性						
	<p>子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。</p> <p>令和5年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</p> <p>06-02 子どもの教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「江別市小中一貫教育基本方針」に基づき、令和5年度から市内全小中学校に小中一貫教育を導入し、中学校卒業時における「目指す子ども像」を学校・家庭・地域で共有を図りながら、系統性と発達段階に応じた連続性のある教育を推進します。 ・保健衛生用品の確保や、換気に必要な備品等の整備など、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を徹底し、教育活動の継続に努め、児童生徒の学びの保障に取り組みます。 ・国が掲げる「GIGAスクール構想」に基づいて整備したICT機器の活用と、教員へのサポート体制の充実により、義務教育9年間を通した系統的な児童生徒の情報活用能力育成を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行い、確かな学力の定着を推進します。 ・地域とともにある学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援ボランティアの全市的派遣を継続するとともに、相互に連携して子どもを育てる持続可能な仕組みづくりのため、引き続き、えべつ型コミュニティ・スクール事業を進め、家庭や地域の積極的な教育活動への参画を促します。 ・児童生徒が授業の内容を理解し、確かな学力を定着できるよう、学習サポート教員や外国語指導助手を全小中学校に派遣し、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな教育を推進します。 ・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、体を動かすことが楽しいと感じられるよう、市内大学と連携しながら小学校へ体力向上プログラム出前授業や、正しい走り方を身に付けるための「走り方教室」を継続して実施し、児童生徒の体力向上に取り組みます。 ・中学校の部活動について、生徒たちが運動や文化活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、地域への移行も含め、当市に適した部活動の在り方について検討します。 ・学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館の蔵書率向上を進めるとともに、情報図書館と連携し、司書の巡回配置と学校要望に応じた随時支援により環境整備や朝読書などの教育活動支援を行います。 ・様々な悩みや課題を抱える児童生徒を支援するため、スクールソーシャルワーカーが学校・福祉・医療などと連携して課題の改善に取り組みます。 ・いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、いじめを許さない意識の醸成と相談窓口の周知に努めるほか、市独自のいじめアンケート調査を実施します。 ・増加が続く不登校児童生徒の社会的自立に向け、適応指導教室「すぽっとケア」の開催日数を拡充し、支援のさらなる充実を図ります。 ・特別な支援を必要とする児童生徒が適切な教育を受けられるよう、特別支援教育支援員の配置の拡充や施設整備を行うほか、医療的ケアを必要とする児童生徒が安心安全に学校生活を送るための支援に努めます。 ・安全で安心な教育環境確保のため、「江別市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設・設備の計画的改修と適切な維持管理に努めます。 ・物価高騰により学校給食の原材料費が上昇している中、原材料を購入している江別市学校給食会に対して補助金を交付することにより、保護者負担を増やすことなく、栄養バランスや量を保った給食を提供します。 ・地域全体で青少年に対する健全育成活動を推進することを目的として、家庭、学校、地域及び行政機関等の様々な主体同士の連携強化に努めます。また、地域で活動する青少年育成団体等とともに、子どもたちにとって貴重な各種体験型学習の機会を確保することによって、青少年教育全般の機会の拡充をめざします。 						
	政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
	子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	47.9	51.1	50.9	↗
	教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	84.1	90.4	83.8	↗
	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	81.7	81.9	—	80.9	↗
	教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「学校教育基本計画」 授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいた児童生徒の割合	%	76.2	75.3	77.0	80.1	↗

政策展開の方向性

市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。

令和5年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

07-01 生涯学習の充実

- ・市民の交流や学習活動の機会を確保するため、公民館や情報図書館をはじめとする社会教育施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、「江別市公民館等長寿命化計画」「江別市情報図書館長寿命化計画」に基づき、計画的な改修・修繕を進めます。
- ・社会教育関係団体が主体的・自立的に活動を展開していけるよう、事業費の補助や公民館等の使用料減免など、安定的な運営に向けた支援を行います。
- ・市内大学など関係機関・団体と連携して「えべつ市民カレッジ」を実施し、幅広い年齢層に応じた学習機会の確保や情報提供を進めます。

07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

- ・優れた芸術や伝統文化に触れる機会のほか、気軽に参加・体験できる場の確保に努めるとともに、文化活動団体の事業に対し支援を行い、人材や団体の育成など、文化芸術活動の促進を図ります。
- ・江別の貴重な歴史的建造物を後世に引き継いでいくため、「旧町村農場」の大規模改修を行い、適正な維持管理や保全に努め、施設の利活用を推進します。
- ・「北海道林木育種場旧庁舎」の歴史的価値を広く周知することを目指し、市民を対象とした歴史講座及び建物見学を実施します。
- ・郷土資料館、セラミックアートセンターなどの文化施設では、日常から衛生管理を徹底し、各種感染症の拡大に応じて速やかな対策を施せる、安全・安心で快適な施設運営に努めます。
- ・郷土の歴史を後の世代に正しく継承していくため、歴史文化資源の保存及び利活用を推進するとともに、郷土資料館の展示を充実させることや、各種講座の開催等を通じて、市民への郷土史学習の機会提供に努めます。

07-03 市民スポーツ活動の充実

- ・市民が日常的にスポーツに親しみ、充実した活動を行う機会を確保するため、体育館をはじめとするスポーツ施設の感染症対策を徹底し、安心して利用できる施設運営に努めるとともに、「江別市スポーツ施設長寿命化計画」に基づき、施設の適正な維持・改修整備を計画的に進めます。
- ・体育施設管理団体と連携して、利用者アンケート等により市民ニーズを的確に把握し、体育施設の利便性向上と利用促進を図ります。
- ・地域スポーツ活動や競技スポーツの活性化を図るため、市内のスポーツ団体を統括する組織への支援を行います。
- ・スポーツへの関心を高め、市民スポーツの推進を図るため、市内で合宿を行うアスリートとの交流や障がい者スポーツの支援に取り組みます。
- ・令和5年度全国高校総体北海道大会開催にあわせて、江別市のスポーツ振興につながるよう、市内開催競技の実施に向けた準備と円滑な大会運営を行います。

政策の成果指標	単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合	%	33.2	29.5	24.9	26.0	↗
文化・芸術活動に参加している市民割合	%	-	26.7	22.8	20.9	↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合	%	40.2	49.2	42.6	43.0	↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合	%	72.0	69.9	64.2	67.1	↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	45.1	38.9	42.1	40.6	↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	76.5	70.4	65.9	69.9	↗

政策 08 協 働	政策展開の方向性						
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。						
	令和5年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）						
	08-01 協働のまちづくりの推進						
	<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市高知県土佐市と互いに「小中学生国内研修交流訪問団」を組織して、相互に派遣する研修交流事業を実施し、両市の小中学生の友好都市への相互理解の推進を図ります。また、両市特産品PR等による地域振興を柱とした交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、状況に応じてオンラインを活用するなど、関係団体等と協力しながら、両市の友好親善を一層深め、協力体制の強化を図ります。 ・令和5年度は、高知県土佐市との友好都市提携45周年を迎えることから、両市の親交を一層深めるため、相互訪問をはじめとした記念事業を実施します。 						
	08-02 国際交流の推進						
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流活動を行う団体への支援を通じ、地域の国際理解・国際交流を推進します。引き続き姉妹都市米国グレシャム市との相互交流を実施し、双方の文化や歴史に対する理解を深め、国際感覚や国際理解の向上を図ります。 ・国際交流員や国際センターとの連携により、在住外国人が生活するうえで必要な情報や日本語を学べる機会を提供するほか、国際交流イベント等を開催するなど、言葉や生活習慣が異なる環境においても、安心して暮らせるまちづくりを進めます。 						
政策の成果指標		単位	(初期値)	R元年度	R2年度	R3年度	目標
お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	50.6	56.4	55.1	↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数		人	895	1,138	67	238	↗

2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	②教育内容の充実 「小中一貫教育推進事業」(学校教育課) 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「GIGAスクール構想推進事業」(学校教育課) 「小中学校外国語教育支援事業」(学校教育課) 「スクールソーシャルワーカー事業」(教育支援課) 「医療的ケア児支援事業」(教育支援課)
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

3. 教育部の資源

		実績			予算額	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	2,280,931	3,911,468	2,781,412	2,763,904	2,822,921
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	2,280,931	3,911,468	2,781,412	2,763,904	2,822,921
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	98.00	95.00	94.00	94.00	96.05
	平均単価 (b)	7,687	7,629	7,607	7,768	7,683
	人件費 (a×b)	753,326	724,755	715,058	730,192	737,952
総額		3,034,257	4,636,223	3,496,470	3,494,096	3,560,873

